

# 第3回川西町子ども・子育て会議

## 会議録

日時：平成26年6月18日（水）午後2時00分～3時10分

場所：川西町役場2階 202会議室

### 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 教育・保育提供区域の設定について
  - (2) 川西町の子ども・子育てに関する現状について
  - (3) 課題抽出と施策新体系について
  - (4) 今後のスケジュール他について
- 4 閉会

### 出席者【委員】

森本	桃子	(成和保育園保護者代表)
安井	仁美	(川西幼稚園保護者代表)
原田	有加里	(川西小学校保護者代表)
川端	悟	(成和保育園長)
本井	友美子	(川西幼稚園長)
辰巳	かおる	(川西町主任児童委員)
岡田	幸余	(川西町主任児童委員)
森田	政美	(川西町副町長)
栗原	進	(川西町教育委員会事務局 教育次長)
下間	章兆	(川西町福祉部長)
中岡	奈良美	(保健センター所長)
松嶋	修子	(子育て支援センター所長)

### 欠席者【委員】

宮崎	博文	(社会福祉法人 飛鳥学院 児童家庭支援センターあすか)
谷口	廣行	(川西小学校長)

## 委員一覧

No	区 分	氏 名	所属及び役職等
1	子どもの保護者	森本 桃子	成和保育園保護者代表
2	子どもの保護者	安井 仁美	川西幼稚園保護者代表
3	子どもの保護者	原田 有加里	川西小学校保護者代表
4	子ども・子育て支援に関する事業に従事する者	川端 悟	成和保育園長
5	子ども・子育て支援に関する事業に従事する者	本井 友美子	川西幼稚園長
6	子ども・子育て支援に関する事業に従事する者	谷口 廣行	川西小学校長
7	子ども・子育て支援に関し学識経験を有する者	宮崎 博文	社会福祉法人 飛鳥学院 児童家庭支援センターあすか
8	子ども・子育て支援に関し学識経験を有する者	辰巳 かおる	川西町主任児童委員
9	子ども・子育て支援に関し学識経験を有する者	岡田 幸余	川西町主任児童委員
10	その他町長が必要と認める者	森田 政美	川西町副町長
11	その他町長が必要と認める者	栗原 進	川西町教育委員会事務局 教育次長
12	その他町長が必要と認める者	下間 章兆	川西町福祉部長
13	その他町長が必要と認める者	中岡 奈良美 (松嶋 修子)	保健センター所長 (子育て支援センター所長)

## 1 開会（事務局）

定刻に事務局より会議の開会が告げられ、本日は宮崎委員、谷口委員が欠席し、辰巳委員は途中退席することが各委員に伝えられた。

## 2 会長あいさつ

あいさつの中で、子ども・子育て会議の要旨は町ホームページ上で公開するため、会議の内容を録音するので、発言に際しては挙手のうえ、名前を告げることが要請された。

## 3 議事

これより、会長が議事進行を受け継ぐ。議事に入る前に、配布資料について確認が行われた。

- ①子ども・子育て支援計画書の構成（案）（前回に引き続き再配布）
- ②資料1 教育・保育提供区域の設定について
- ③資料2 川西町の子ども・子育てに関する現状について
- ④資料3 課題抽出と施策新体系について
- ④第2回子ども・子育て会議会議録

### （1）教育・保育提供区域の設定について

事務局より、教育・保育提供区域の設定について資料に添って説明がなされた。

- ①子ども・子育て支援法第61条第2項により市町村子ども・子育て支援事業計画の中で定める事項の1つ
- ②本町が定める教育・保育提供区域の設定
  - ・川西町は県内市町村の中でも3番目に小さい、コンパクトな行政区域
  - ・町全体を1つの区域と捉え、今後の効率的なサービス供給体制を整える

事務局による説明終了後、会長より、質疑が促された。

これを受け、委員より、町内の一部に、12人程度、天理市の小学校に通っている地区があり、1つの区域を設定した場合、この地区をどう扱うことになるか質問が出された。

これを受け事務局より、以下の観点からの説明がなされた。

- ・「教育・保育提供区域」を複数設定する場合は、区域同士のバランスも考える必要がある
- ・12人の子どもを1つの単位で考えるのは小さすぎるため、「教育・保育提供区域」は町全体を1つの区域として設定し、その地区は例外的に扱うのが現実的と考える

委員より、川西町の中で、下手に区域を割ると不都合なことも出てくることが考えられ、また、一般的に中学校区を日常生活圏と考えられているので、あくまでも例外的に扱う方がやりやすいとの意見が出された。

委員より、何年か前には、その地区から川西幼稚園に通う園児もいたので、保護者が川西幼稚園を選ぶことはできるとの意見が出された。

## (2) 川西町の子ども・子育てに関する現状について

資料に従って、事務局より説明がなされた。

- ① 計画書構成（案）の第2章に相当
- ②現時点で収集が間に合わないデータもあるので、表中では空欄や「-」になっている箇所がある
- ③グラフ化することで、よりわかりやすくなる項目はグラフ化する予定
- ④人口推移、人口推計ともに急激な動きはないが、緩やかな少子・高齢化傾向を示している
- ⑤出生率（人口千対比）と合計特殊出生率の違い
- ⑥全国的な傾向から合計特殊出生率は回復傾向にある
- ⑦平成22年以降の世帯当たり人員は2.6人で動きは見られない
- ⑧6歳未満同居世帯、18歳未満同居世帯は緩やかな減少傾向がみられる
- ⑨女性の年齢別就業率はM字型グラフを作るための数値
- ⑩産業別就業者数では、第2次産業、とりわけ製造業の就業者数がやや多い
- ⑪学童保育、放課後子ども教室はアンケートからも一定のニーズがある
- ⑫川西町の男女別の就業者数はほぼ6対4だが、いずれ5対5を目標に推移することになる

事務局による説明終了後、会長より質疑が促された。これを受け委員より、放課後子ども教室の説明の中で放課後子どもプランについても説明されているが、放課後子どもプランには放課後児童クラブ（学童保育）も含まれるので、まず放課後子どもプランの説明があり、次に放課後児童クラブ（学童保育）と放課後子ども教室が出てくる方がわかりやすくなるとの提案が出された。

委員より、放課後児童クラブ（学童保育）の表現がわかりにくいので、アンケートの設問のように学童保育（放課後児童クラブ）にした方がわかりやすいとの提案が出された。

委員より、別紙資料の年齢別就業率のグラフを本文に掲載するのか質問が出された。

これに対し、事務局より、放課後子どもプランと学童保育、放課後子ども教室については表現方法も含め、計画書の中での記述はわかりやすくなるように検討し、女性の年齢別就業率は表の下に、県と町のグラフを重ねて掲載するとの返答を得た。

委員より、次の2点についての確認・検証が要請された。

- ・平成24年7月から住民基本台帳に外国人も含まれるようになったので、表に示されている数値に外国人が含まれているのか。また平成23年の人口も増えているが、これにも外国人が含まれているのか

- ・スカイタウンの転入が、人口増加に影響しているのか

事務局より、表に示されている数値には全て外国人も含まれている。また、スカイタウンの転入による人口増加については不明であると返答を得た。

会長より、婚姻率、離婚率について、離婚率のみ小数点第2位になっている点について質問が出された。

これに対し、事務局より厚生労働省の人口動態統計の数値がこのような形で公表されているためとの返答を得た。

委員より、データについては、グラフ化してわかりやすくして欲しいとの要望が出された。

### (3) 課題抽出と施策新体系について

資料に従って、事務局より説明がなされた。

- ①計画書構成（案）の第3章に相当
- ②現行の事業が実施されているので、現行の施策体系を無視した新体系は無理があり、現行体系の修正から着手することになる
- ③現行体系は比喻や抽象的な表現が用いられているため、現実的表現に置き換えた
- ④課題抽出と体系づくりは、委員各位、町の政策判断を含め、総合的な意見集約に基づくべき

事務局による説明終了後、会長より、質疑が促された。これを受け、委員より町長の川西町の魅力を高める「四つの活カプラン」の、「子どもや子育てしている人にとってやさしいまちづくり」を、視点の中に折り込むことが提案された。

委員より、次の2点について要請された

- ・学校教育の指導方針の中で謳われている、「たくましい心身の育成」を「②教育環境の充実」の中に4番目の項目として追加して欲しい
- ・同指導方針の中で謳われているキャッチフレーズ、「夢と希望にあふれたいきいきとした子どもの育成」を参考にして欲しい

事務局より、視点と新キャッチフレーズの間項目を追加して教育委員会のキャッチフレーズを入れるように検討したいとの返答を得た。

また、課題と新体系については、意見等の提出により委員各位の意見を集約する形でまとめたいため、事務局より委員各位の協力が要請された。方法については後日、提案書の提出等によることとした。

### (4) 今後のスケジュール他について

事務局より、第4回会議を8月19日（火）に開催することが告げられ、その時点である程度の意見集約がまとまった形で提示し、併せて、計画案もさらに進めた形で提示できるよう、準備を進めることとなった。

#### 4 開会

会長より、以上をもって、会議の終了が告げられ、会議を終了した。

（閉会后、委員より、自由意見を出す場を設けて欲しいとの要望が出され、方法や参加者等について後日、検討することになった。）